

# 館報まっさき

がんばろう  
末崎!  
津波なんかに  
負けない!

## ことしの年賀状

新年あけましておめでとう  
ございます。

昨年、サンマの漁獲高は前年比をかなり上回ったものの、サケにおいては大変な不漁であった。アワビ、ウニも不漁であった。漁家にとっては、厳しい年であった。また、物価の高騰に比べて給与(所得)は上がらず、家は火の車であった。今年、多くは望まぬ状況に陥っている。

日本郵便による、2025年の郵便物数(速報値)は4億9千100万通(一人当たり約4通)と、昨年の7億4千300万通と比べて34%の減少だ。最大の減少率である。ちなみに、最大の減少率である。ちなみに、最大の減少率である。

であるが、それ以上に年賀はがきの63円から85円の値上がりがあるという。現在は諸物価が高騰しており、家計を圧迫している。そこで、泣く泣く切り替えたのが年賀状ともいわれている。

特に若い世代は、日常生活は勿論、仕事においてもパソコンやスマホ等によるコミュニケーションがとられていくことから、社会的習慣として行われている年賀状の必要性はないと考えている。また、一般企業においても経済的厳しさが増す中で、経費節約と虚礼廃止が進行しており、これらも年賀状の減少に拍車をかけている。

さらに、年賀状仕舞いも加速している。印刷屋さんに年賀状の印刷を依頼する場合、店舗へ出向いてデザインやレイアウトについて話し合っ決めてねばならない。時間と手間がかかる。家で作成する場合も、年賀はがきその年の千支のソフトも買わねばならず、それなりに手間暇も費用もかかる。このようにお金や手間をかけてまで年賀状を出さねばならないのだから、と考へ、その必要はあまりない。

減ってきた。少したった。このままでは、これからの年賀状の出費が増える。望みから忙しすぎる。年賀状の出費を減らしたい。思っている。

合理的なものか。この考え方では、関係が希薄になっていく。人々の心を打つことはできない。人間関係が希薄になっていく。合理的なものか。この考え方では、関係が希薄になっていく。

★末崎地区公民館杯 ホッチャ大会  
主催 大船渡市立中央公民館  
会場 末崎地区公民館  
日時 令和7年2月7日(金)  
9時30分～12時  
ふるさとセンター  
体育室

## ふるさと散歩①

### 船河原

何から始めたらいいか戸惑っている。切り口(文章の)が見つからない。前任者が素晴らしい郷土史を書き残したから、さっぱりペンが進まない。とにかく書くしかない。軽いタッチでテンポよく…

船河原は戸数 43。大船渡町に接し、南東方遠くに市民を守る大船渡湾口防波堤がどっしり構える。海がキラキラ光る。

早速、地域館長の松岡弘志(こうし)さん(63)を訪ねることにした。

松岡さんは気仙広域清掃社の社長さんでもある。公民館活動は? 船河原はどんな所ですかね。「困ったな…。紹介できるものってないね。あ、思い出しました。3年前のことですが、山奥に地域民を守る『雷神様』(1884年、天保15年再建とあるが創建年記録なし)がありまして、覆い堂が腐りかけて危ない状態となり、本体を公民館敷地に安置しました。山奥に鎮座してあったため、お参りする地域民も少なかったという。

地域で困っている事は? 避難道路を拡張してほしい。車が通らない。消防団員ゼロ。松岡館長は何とかしてほしいと頭をかかえる。

丸森からドボトボと県道を歩いていたら、村上園芸が目に入った。寄ってみることにする。花苗づくりに取り組む村上ヨシ子さん(83)に話しかけると「一人ではとっても手が回らず、今年はハウス5棟うち、1棟(広さ約1000平方メートル)だけで苗を育てることにした」という。「年も年だからねえ」と笑った。花と向き合っていると気持ちが癒される。今年、主な花苗の生産目標は、マリーゴールド、ペゴニア各3000株。「苗づくりは、3月中旬から始めたい」と、春が待ち遠しい様子。

次は「峰岸」(U)

表彰 持ち玉は1人2球とする  
参加資格 3位まで表彰  
参加料 無料  
参加申込み 末崎町民(誰でも参加できます)

★末崎中学校「思い出を語る会」への参加申込みについて  
末崎中学校の閉校式後、同窓会主催の「思い出を語る会」を左記のとおり開催したいと思っております。

1日時 令和7年3月23日(日) 午後5時から  
2会場 大船渡プラザホテル  
3会費 5,000円  
4参加予定者 市及び市教委関係者、管内在住の元校長、末崎中学校教職員およびPTA役員、歴代PTA会長、議員、地区公民館、地域公民館長、各種団体の代表者、同窓会役員、一般参加者等。

★末崎地区助け合い協議会主催 ふれあいホッチャ大会結果  
12月20日(金)ふるさとセンター体育室で男女24名の参加により開催されました。成績は次の通りです。  
優勝 田村 義孝  
優 田村 義孝  
準優勝 梅根 孝一  
第三位 高橋 信子  
菊池 久夫  
山田 代夫

大会当日は、肌寒い一日でしたが

★第16回末崎町民 ひなまつり  
皆さん元気にプレをしておりました。ご参加頂きました皆様には大変お苦勞様でした。

主催 末崎地区公民館  
協力 末崎町婦人会  
食生活改善推進連絡協議会  
茶道教室『滝田』

期日 令和7年2月22日(土)  
場所 ふるさとセンター  
時間 午前9時～12時  
☆おひなさま鑑賞  
☆9時～12時  
☆おやつ  
☆9時30分～11時  
☆おやつ  
☆9時30分～11時

\*おひなさまは、3月4日(火)まで飾っております。  
気楽にご来場ください。  
但し、日曜日と祝日は休館となります。



※館報の連載について

郷土史研究者新沼紀三氏には、平成29年8月から令和6年12月までの7年5ヶ月(89回)という長きにわたる町内の石碑や石仏、祠などの歴史の遺産から虎舞・権現様で、詳しく解説(執筆)していただきました。心から感謝申し上げます。  
令和7年1月からは東海新報記者・整理部長として活躍された梅澤直氏による「ふるさと散歩」を連載いたします。ご期待ください。

